

# 七尾第2地方合同庁舎

七尾地域の新しい広域行政拠点整備の起点として

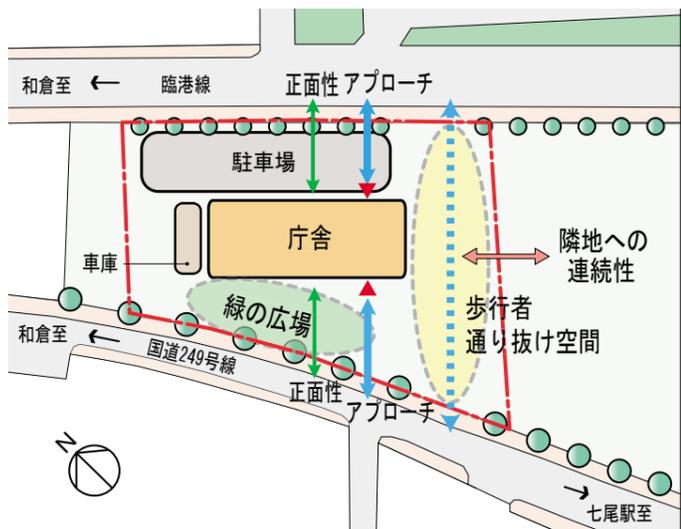


南側外観



七尾湾に向かったの鳥瞰

建設地：石川県七尾市小島町大開地3 - 7外  
敷地面積：5,300.18㎡  
建築面積：1,227.19㎡  
延べ面積：4,329.46㎡  
階数：4階  
構造：RC造一部鉄骨造  
工期：平成16年3月18日～平成17年3月15日  
入居官署：七尾税務署、金沢地方法務局七尾支局



・七尾市には、駅前の商業・市行政エリアと港周辺の観光・交流エリアを結ぶ骨格軸があり、これと直交し海岸沿いに延びる臨港線は、海洋観光交流軸と位置付けられ、今後の整備により新たな都市軸としての発展が期待されます。（七尾市都市マスタープラン）

・計画地は、七尾市の主要幹線道である国道と臨港線の交差する交通の要所に位置します。隣接する国有地や未利用地が周辺にあるため、今後広域行政官署の集約化により、広域行政エリアとしての整備が期待されます。

・本計画は、既存施設の抱える老朽化、狭隘、駐車場不足等の問題を解消するとともに、業務の効率化集約化を図り、行政サービスの向上を目的とします。

## 『地域に開かれ親しみのもてる空間』

能都地方の新しい広域行政拠点としての施設  
今後整備される海技大学校跡地の先導的な施設として  
開放的な公共空間を提供し、地域の活性化に貢献します。

### 【緑の広場】

建物前面に位置する歴史施設である山の寺寺院群に向けて緑化広場をつくることにより、周辺環境になじんだ、落ち着いた空間づくりとなります。

### 【通り抜け広場】

海側と山側をつなぐ通り抜け空間をつくることにより、市民の交流空間となるとともに、憩いの場ともなります。

### 【キリコシャフト】

能都地方の伝統行事であるキリコ祭りに用いられる巨大な御神灯の意匠を踏襲し、市民に長く親しまれる街並みを提供します。



能登キリコ

## 『エコロジカル庁舎への取り組み』

環境に優しい庁舎  
地域特性を活かした省エネシステム

### 【自然通風】

中間期が比較的長い気候を活かし、海側、山側に面する大きな事務室空間とすることで、自然通風を取り入れやすい平面計画とします。

### 【自然換気】

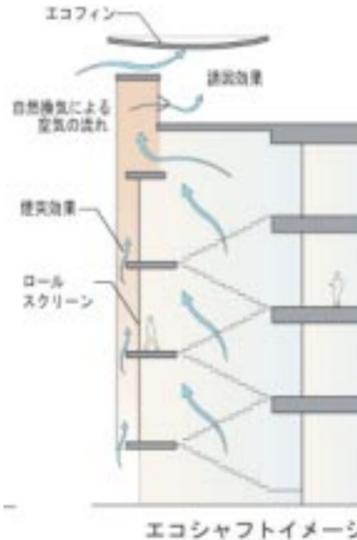
南西の日射の多い階段室には、ロールスクリーンで熱負荷を押さえると同時に、空気層による換気システムを導入し、空調機かかる負荷を軽減を図ります。

太陽光発電システム

昼光利用システム

ペアガラス(Low-E)による断熱性の向上  
建設搬出の抑制

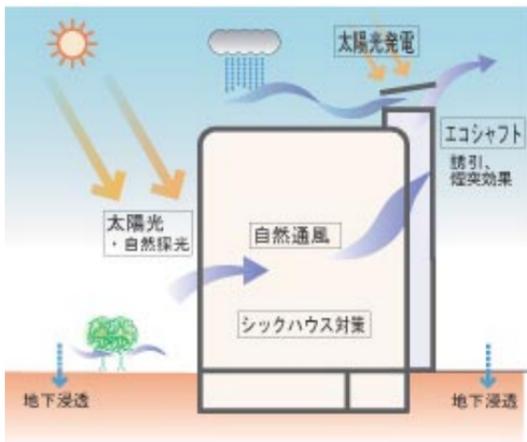
雨水流出抑制のための外構



エコシャフトイメージ



エントランスホール内観



人のからだに優しい庁舎

シックハウス対策

内装材にはホルムアルデヒドを含む有害物質の少ない仕上材・塗料・接着剤等を使用するとともに、珪藻土・木材等の調湿・防臭効果のある素材を使用します。

完全分煙化

各階に喫煙室を配置し、たばこの副流煙の害に配慮した換気計画とします。